

田辺中だより

京田辺市立田辺中学校

さらなる高みを目指して ～自主・自立・創造～

京田辺市興戸北鉾立 21 番地 TEL:0774-62-0021 FAX:0774-62-5099

ホームページ URL 【<https://www.kyotanabe.ed.jp/nc3/tanabe-jh/>】



「言葉のチカラ」

特別支援教育コーディネーター 東地井 弓子

私たちが日常的に使っている「言葉」には、「力」があります。「言霊(ことだま)」という日本古来の考え方で、ポジティブ(肯定的)な言葉は良い結果を引き寄せ、ネガティブ(否定的)な言葉は望ましくない状況を招くことがあると言われています。

自分が発する言葉を最初に認識するのは、自分自身です。何かを考えたときや口に出すときに使う言葉をポジティブにすると、心によい影響があります。活躍しているアスリートの中には、「試合に勝つ」「大会で優勝する」などのプラスの言葉で願望を現実化している選手もいます。繰り返し自分にポジティブな言葉をかけることで、自己肯定感が高まり、未来を切り開く力になって、夢や目標の実現をサポートするのです。「大丈夫」「できる」という前向きな言葉は、自分を励まし前に進む力をくれます。逆に「どうせ自分なんて…」「うまくいくはずがない」「無理」などの悲観的な言葉は、不安やストレスを増加させ、思考や行動をその方向に縛(しば)ってしまいます。

人間関係においても、ポジティブな言葉は相手に安心感や勇気を与え、ネガティブな言葉は不安や距離感を生むことがあります。「ありがとう」「おかげさま」「大丈夫」「きょううまくいく」「なんとかなる」「楽しい」「運がいい」といったプラスの言葉は、自分や相手の心のエネルギーを高めてくれます。相手に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えると、良好な人間関係を築くことができます。人にうれしいことをしてもらったときは「すみません」と言うよりも、笑顔で「ありがとう」と伝えましょう。ほめられたときは「そんなことはないです」と謙遜(けんそん)して否定の言葉を使うよりも、素直に「ありがとう」と相手の気持ちを受け取るとういすね。人に対しても自分に対しても、感謝や思いやりの言葉を使うと、心がほっと安心して幸せを感じやすくなります。

自分がいつも使っている言葉が、自分の未来をつくっています。日頃から言葉の力を意識して使うことが大切です。実現したらうれしいことを口に出し、そうなるには困ることは言葉にしないように注意しましょう。プラスの言葉をどんどん使い、自分が言われたらいやな気持ちになるマイナスの言葉は使わないようにしましょう。相手を気遣い、できるだけ美しい言葉、愛のある言葉、思いやりのある言葉を使うようにしたいですね。自分の言葉がもたらす影響を少し意識するだけで、日常のコミュニケーションが豊かになることでしょ。

今後の予定

3月 2日 (月)	一斉委員会
3月 6日 (金)	公立高校中期選抜・CRTテスト1年 3年生特別時間割4校時まで ※最終下校 15:30
3月 10日 (火)	3年生5校時特別清掃
3月 11日 (水)	3年生を送る会
3月 12日 (木)	卒業式予行 3年生給食終了日
3月 13日 (金)	第79回卒業証書授与式
3月 16日 (月)	～19日 短縮授業4校時(最終下校 15:30)
3月 17日 (火)	中期選抜合格発表
3月 19日 (木)	2年生修学旅行・進路保護者説明会
3月 23日 (月)	給食最終日(最終下校 14:30)
3月 24日 (火)	学年末清掃、修了式(最終下校 12:00)
3月 27日 (金)	離任式9時～(学校HPにて異動される先生をお知らせします)

制服リサイクルへの御協力をお願いします。
(職員室へお持ち寄りください。)

1年生「手話体験学習」

2月3日（火）

2月17日（火）

1年9クラスで「手話体験学習」を実施しました。京田辺手話サークルの方々に来ていただき手話を教えていただきました。この体験学習を通して、生徒たちが社会の様々なハンディキャップについて理解を深めきっかけにすることができました。



2年生福祉体験学習（車椅子スポーツ）

2月27日（金）

生徒たちが、車椅子スポーツ体験を通して、「障がい」について理解を深め、共生社会について考えるきっかけになるようにと福祉体験学習を行いました。今回はホスピタルフットボール協会を作られた糸賀亨弥さんを講師としてお招きしました。この2年生は、1年生時に視覚障害、聴覚障害について体験学習を実施しており、その学習を踏まえ、今回の体験とともに、①障がいに対する理解を深めること②共生社会とは何だろう ということをしっかりと考えていきました。



3年生「薬害学習」-薬害を繰り返さないために-

2月20日（金）

3年生の SELF「健康教育×人権教育」で薬害を繰り返さないために、薬害の被害者の方から直接その体験や望まれていることをお聞きし、薬害の現状や歴史、取組や課題など人権的な観点で薬害を捉える学習をしました。自分たちが被害者にならないためにしていくべきことなども考えました。



3年生「子育て理解教育」

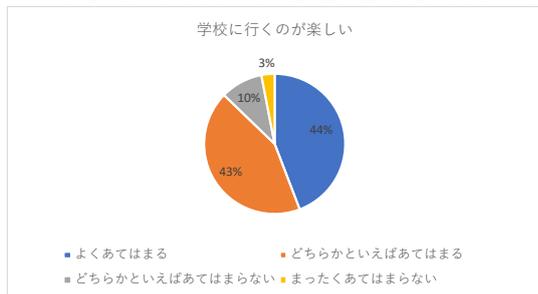
2月26日（木）

将来親となる中学生たちが、生命の素晴らしさや子育てに関する理解と関心を持ち、今後の自分の生き方を考える機会になるように、助産師小西朋子様「生命誕生といのちの大切さ」についてご講演いただきました。生命のはじまり、出産の様子、子育て経験者の話、妊婦エプロンをつけての妊婦体験、赤ちゃんの抱き方体験などを行いました。今回の子育て理解教育を通して、自分を大切にすること、相手を大切にすること、つまり生命を大切にすることについて考えを深めました。

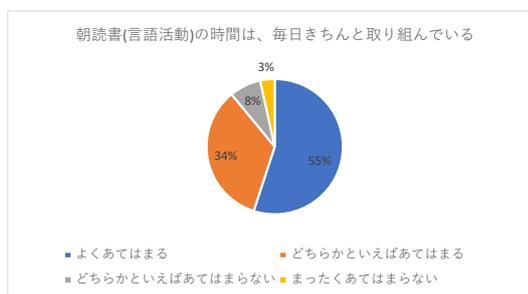


令和7年度 学校評価アンケート(生徒)結果

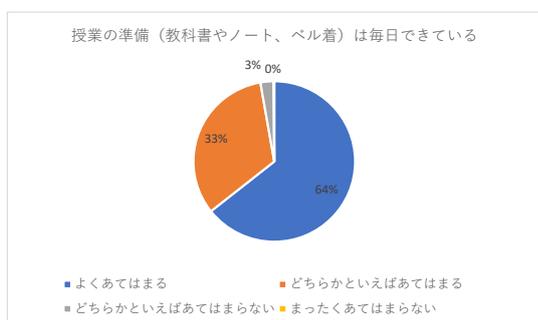
遅くなりましたが、生徒アンケートの結果をお知らせします。生徒たちの声は、教育環境の強みをさらに示すとともに、今後の学校づくりにおける重要な基盤となります。生徒たちは、学校をよりよくするための意識を高く持ち、前向きな提案も積極的に表明しています。



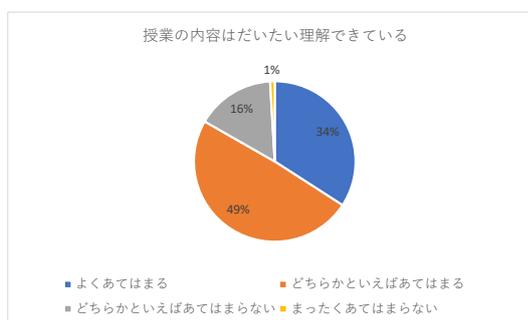
学校へ行くのが楽しいと思っている生徒が87%に対し、そう思っていない生徒も13%いるのが現状です。教職員全体で魅力的な学校とは何かを考え、より良い環境の構築に努めたいと思います。



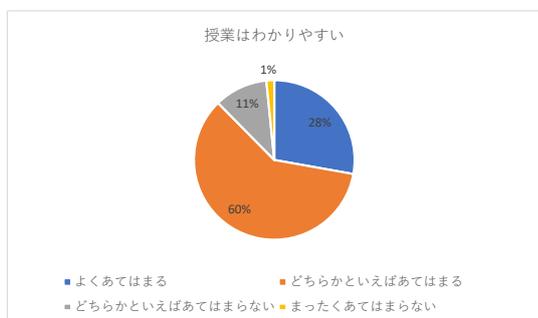
昨年度よりUPしており、定着は進んでいるが一定数への手だてを継続して進めていきます。



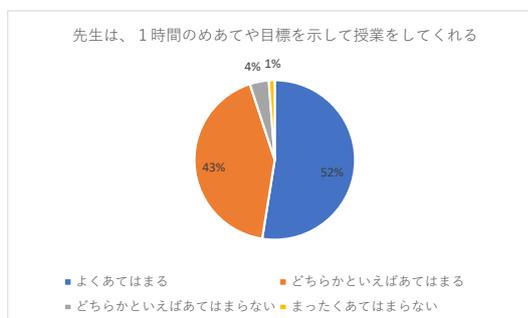
各学年、各学級での取り組みやリーダーからの声掛けもあり、ほとんどの生徒が意識してできている結果だと思えます。



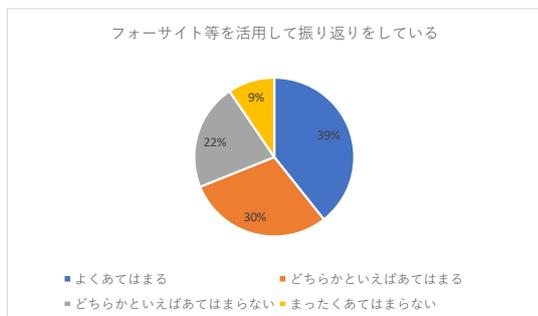
83%の生徒が理解できている中で、残りの17%の生徒に対しての手だてをしていく必要があります。取りこぼしがないような授業を心がけていきます。



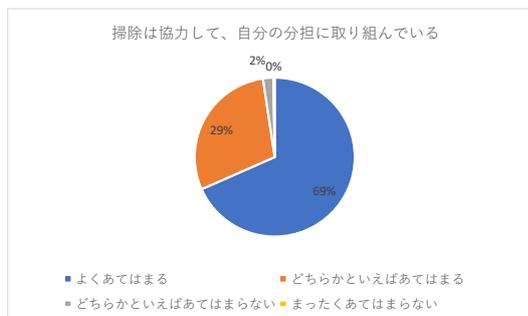
授業内容の理解と分かりやすさが比例している結果となりました。88%の生徒が分かりやすいとする一方で分かりにくいと感じている生徒に対しても授業改善を進めていきます。



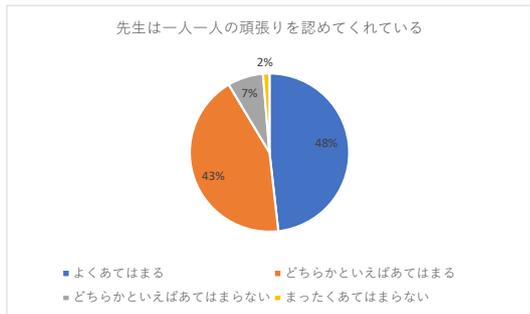
めあてや目標の提示が生徒の授業理解につながっていると思います。また、ゴールを設定することで主体的に学ぶ手助けにもなっています。



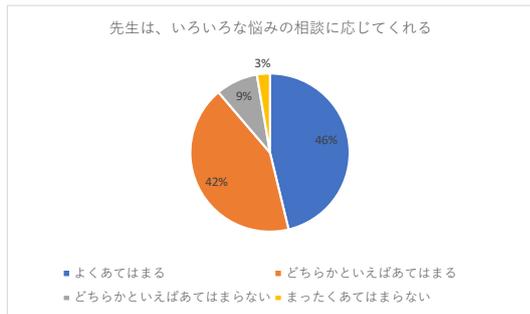
「あてはまる」「よくあてはまる」が昨年度の41%から39%UPになりました。タブレット端末を活用しての振り返りを今後も推進していきます。(振り返りについては他にも、ロイロノートの活用やプリント等を使用しています。)



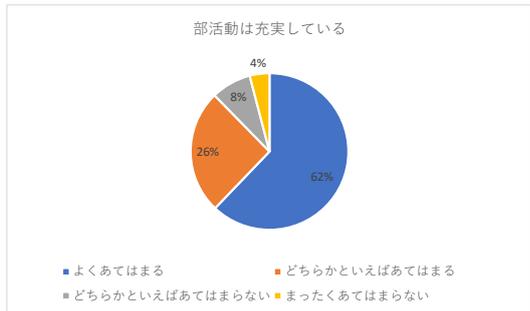
今年度は98%とほぼすべての生徒が掃除に対して協力し取り組んでいるという素晴らしい結果となりました。引き続き高い水準を維持できるように取り組んでいきます。



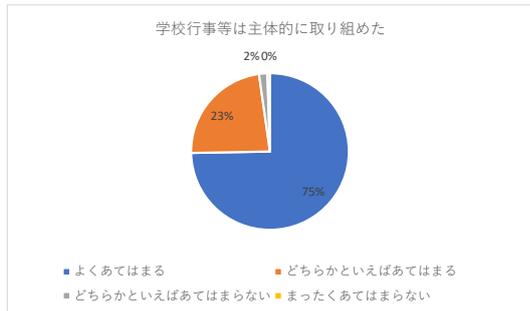
頑張る→認められる→自信につながる→新たなことに挑戦するというサイクルができつつあるのではないかと思います。それが生徒一人ひとりの主体性につながればと考えています。



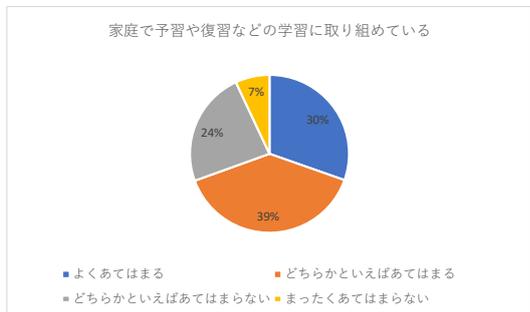
まずは悩んでいる事が相談できる人が一人でも多くいることが大切だと考えています。今後も生徒に寄り添っていける環境の整備に努めたいと思います。



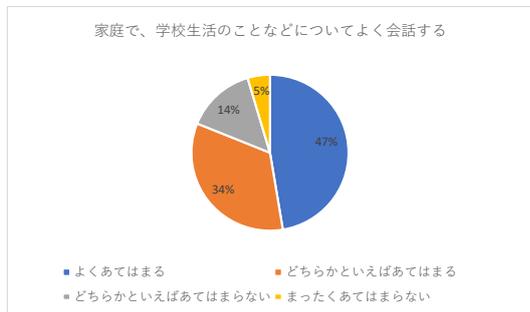
今年度は運動系文化系を問わず生徒たちが協力し頑張った結果、たくさんの生徒が入賞や上位大会に出場することができました。



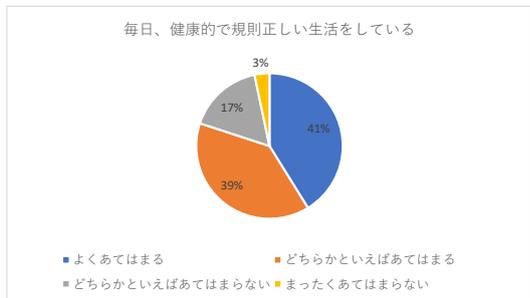
田辺中の生徒は、行事に対しての意識が強くリーダーをしたいと立候補する生徒も多いです。自分の強みを活かしたり、挑戦したりする場として積極的に参加してくれているところが素晴らしいところです。



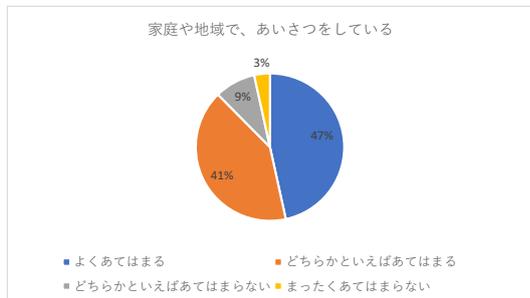
昨年度と同様の結果となりました。単元テストや各教科で実施する小テスト、課題等に対しては、計画的に取り組む生徒が更に増加するように、手立てを考えていきます。



昨年度と同様の結果になり、引き続き、家庭で学校での話をしていることが分かりました。ご家庭と学校が連携し、子ども達のより良い成長の手助けができるように引き続きご協力をお願いいたします。



基本的な生活習慣を確立させることがより良い成長につながっていくと考えています。昨年度よりも改善しているので、引き続き伸ばしてほしいと思います。



挨拶をしている生徒が増えている結果となったのは嬉しいことです。毎朝の登校の様子から、自発的に挨拶ができる生徒が増えればもっとよくなると思っています。

生徒アンケートの記述回答には、田辺中としての良さとして5点示されていました。①多様な仲間と関われる環境②明るく活気ある学校風土③仲間意識の強さと協力的な雰囲気④行事へ真剣に取り組む姿勢⑤教員や授業への信頼感といった声がありました。また、提案としては6点ありました。①ルールの明確化とそのための対話機会の充実②生活習慣の改善③学年、クラスを超えた交流機会の拡大④施設・環境改善⑤ICTや給食、部活動など日常の利便性向上⑥安全・マナー向上への意識、という声がありました。